

「令和4年度からの

篠崎中学校の生活や諸活動について」

家庭配布資料

令和4年2月初め 現在

令和4年2月2日

保護者 各位

北九州市立篠崎中学校
校長 青木 哲也

令和4年度からの篠崎中学校生活や諸活動について

日頃から学校教育に、ご理解・ご協力をいただき、感謝申し上げます。新型コロナウイルスの感染拡大が継続し、様々な支障もありますが、学校としての歩みを止めることがないよう最善の努力を重ねて参ります。

さて、令和4年度に向けて、市内全体で変化しようとしていることや本校独自で取り組もうとしていることを、取りまとめてお知らせします。詳細は、機会を捉え、お便りや生徒を通じて、説明していきます。

新しい生活様式や変化する学校生活に柔軟に対応し、一人一人に応じた最善の教育を目指して進めて参ります。進めながら修正を加える部分も多々ありますが、ご理解・ご協力をお願いいたします。

不明な点がありましたら、学校までお問い合わせください。(篠崎中093-561-0131)

【校則・学校生活について】

《全市》

- ・ 全ての学校で校則の見直しを進めています。学校により進め方や時期は異なります。

〈篠崎中〉

- ・ 生徒心得として、入学時に配られているだけでした。多くの生徒が常識の範囲で適正に、理解しており、特に不都合はありませんでした。しかし、**不合理な内容や生活する上で、無用に厳しいものなどを改善**してきました。今も多くの生徒や家庭の協力で、秩序ある学校生活が過ごせています。今後も継続します。先日、全校生徒に今現在の判断材料を配りました。自分たちの学校をよりよく学習しやすい環境にするために、改善していく事は大切です。
- ・ 今後は、本当に必要なものなのかなどを**生徒会や学級会で議論し、改善を進めていく**予定です。

* 令和2年から3年にかけての変更点

- ・ 衣替え期間の柔軟な拡大
- ・ 夏季の体操服登校
- ・ **防寒具の幅拡大(タイツ等の色等を現実に即したものに、新規の防寒具の導入)**
- ・ **下着や靴下等の色等を現実に即したものに**
- ・ **通学靴を購入しやすいものに**
- ・ 令和4年度から**軽い通学カバンの導入**、従来型との併用で**選択できる通学カバンに**
- ・ **自動販売機の導入**(年間を通じて、スポーツドリンク等の熱中症対策)

【部活動について】

《全市》

- ・ 部活動の適正な在り方が模索されています。
- ・ 「**連携部活動**」という制度が始まります。自分の学校にない部活動に他校で参加できます。(いくつかの条件が設定されていますが、日常の練習や活動を重視するもので、試合に出るための制度ではありません。)
- ・ 今後、文部科学省やスポーツ庁の出す方針を受けて、変更が加わってきます。
- ・ 学校部活動は、新年度の先生方の異動確認後、部活動を編成します。

〈篠崎中〉

- ・ 部活動の**主顧問**として、複数年、関われる先生がいる場合、**部活動の発足を可能**とします。**募集停止していた部も募集を再開**します。
- ・ 主顧問となれる先生が、**いなくなった部は、募集停止**をします。在籍生徒が**卒業するまでの活動は確保**します。
- ・ 部活動は**単年度ごと**に、**在籍、移籍**できるようにします。
- ・ できるだけ多くの先生が、多様な部活動をもってもらえるようにするために、**「週5日以内」、「17時まで」を部活動の原則**とします。試合のある場合は、週内で振替えます。

可能な部活動によっては、市の規定に沿って、**平日2時間、休日3時間**を活動可能時間とします。

- ・ 篠崎中でも、**可能な部活動で「連携部活動」を受け入れる**方向を考えています。
- ・ 地域にお住まいで、継続的に部活動の指導に関わってくださる方がいる場合に、「**地域部活動**」(休日部活動)を検討していきます。当面は、**土・日のいずれかの日に活動**を考えています。中体連の規定で、顧問は教員である必要があるために、試合に出ることを前

提にしていません。学校にある部と接続できる「地域部活動」(休日部活動)では、教員は、休日の指導には、携わりません。

これから変化する様々な部活動の形態

学校部活動 継続 篠崎中では、部活動の設置や募集停止のルールを明らかにして多くの生徒が入りやすい、部活の形を探ります	地域部活動 導入 (休日部活動)	[活動重視]
	連携部活動 導入	[活動重視]
	合同部活動 必要によって	[団体種目・合同チームで試合]

【修学旅行について】

《全市》

- ・ 現在、第3学年において実施しておりますが、令和2、3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、秋に日程や行先を変更して実施することとなりました。
- ・ 様々な事柄により柔軟に対応できるようにするために、令和4年度から市内62校が一団となって行っていた**修学旅行を学校単位で決めていく**ように変更しています。
- ・ また、**令和5年度より修学旅行を第2学年で実施する方向**で現在、調整しています。

〈篠崎中〉

- ・ 令和2年度は、秋に延期し、さらに行き先を変えて「ハウステンボス」日帰り修学旅行を実施しました。
- ・ 令和3年度は、秋に延期し、さらに行き先を変えて「阿蘇・熊本・大宰府・マリンワールド」1泊2日の修学旅行を実施しました。
- ・ 令和4年度は、感染リスクや柔軟な日程変更が可能とできるようにするために、**中国地方(広島や山口等)の修学旅行を4月24日から2泊3日**で計画しています。
- ・ **令和5年度は、令和3年度入学生が3年生で、令和4年度入学生が2年生で修学旅行に行くことになる方向性**です。

【PTA 活動について】

《全市》

- ・ PTAについて各学校で、議論されより良いものを作ろうと変化を進めています。各学校によりその取り組みは、様々異なります。

〈篠崎中〉

- ・ これまで同様に全生徒の家庭を対象に篠崎中学校の教育に関わる PTA 会員の対象としての参加の呼びかけをします。参加は任意ですが、これまで同様にかかわっていただくよう協力をお願いします。
- ・ 校納金や会費、その他の納入の仕方については、別に確認させていただきます。

【学期制について】

《全市》

- ・ 3 学期制で進める学校が多くあります。

〈篠崎中〉

- ・ **令和3年度に続き、清水小学校・泉台小学校と共同し、2学期制を継続導入します。**
- ・ 現在、市内では小学校4～5校、中学校が2校、導入しています。
- ・ 2学期制のよさとして、授業時数の確保が3学期制と比較し、**40～50時間程度生み出せ、コロナ禍の不安定な現在の状況や変化に対応しやすくなります。**また、生み出された時間を**教育相談（生徒との個人面談）、保護者懇談等の時間**にあてます。**特設的な社会の要請に応じた教育活動**（令和3年度実施：デジタルシチズンシップ教育、キャリア教育、経済教育、規範意識教育、性犯罪被害防止教育、SDG's, Society 5.0等）をこの時間帯で実施します。
- ・ 学習の状況をお知らせする。懇談会や伝達方法を工夫します。

1学期	夏休み	2学期	冬休み	3学期	学年末休業
← 前期	夏休み	前期 → 10月2週	←後期 10月3週	後期 →	学年末休業

- * 儀式や考査などの時間を減らす。週末テストや単元末テストなどを実施
- * 教育相談の充実、懇談会の時期改善

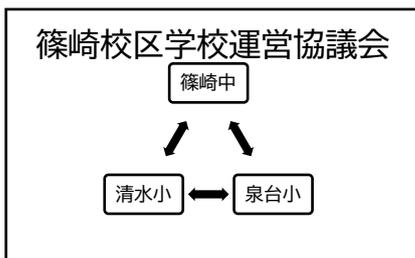
【コミュニティースクールについて】

《全市》

- ・ 学校運営協議会を置く学校を「コミュニティースクール」として、地域とともにある学校を目指して学校運営を進める方式を拡大しています。北九州市型と国型があります。

〈篠崎中〉

- ・ 篠崎中学校は、「コミュニティースクール」の中でも、**国型の検証モデル校に指定**されています。大きな違いは、学校の運営方針を**学校運営協議会の委員のみなさんで議論し、方向を決めています。**
- ・ 次年度は、**篠崎中学校、清水小学校、泉台小学校と3校で共同して、一つの学校運営協議会を設置し、「篠崎校区学校運営協議会（仮）」「篠崎コミュニティースクール（仮）」として、小中一貫教育を進めていきます。**（児童生徒数も多く、増加傾向にあるので、これまでと同じように各学校で基本は進めます。理念や方向性、大枠などを共有して、共同できるものから、進めていきます。：施設分離の小中一貫の方向性）



【授業時数縮減について】

《全市》

- ・ これまで通りの 50 分授業で、学習指導要領に示す標準時数で授業を進めます。

〈篠崎中〉

- ・ **国の授業時数縮減指定校に指定**されています。
- ・ 国語、数学、理科、社会、英語、保健体育などの教科の授業を10%縮減し、他の教科等に上乗せして、全体としての授業時数変えない教育方法を進める内容です。
- ・ 篠崎中学校では、**50分授業を45分授業**として、10%の縮減をします。コロナ禍の中、45分の授業を実施してきました。各教科の指導の中で、基本的な内容は、指導できるという状況の中から、この方法を導入することにしました。
- ・ 一週間の授業数の少ない、美術、音楽、技術、家庭も45分で基本進めますが、ある時期に特設の時間を設定して、授業時数を確保します。また、教科的にどうしても必要な時間などを検討して、それらの教科にも戻していきます。
- ・ 各教科から生み出された時間は、「総合的な学習」「特別活動」といった時間に上乗せします。**教科横断、総合的な学習として「探究的な学習」として、生徒が設定するテーマについて、各教科の知識を生かして、調べたり、まとめたり、発表する時間**に取り組みたいと考えています。
- ・ 特設の時間は、**7時間目**を設定し、しっかり学ぶ時間を確保します。平常の6校時の授業時間は、可能な限り変更せず進度の確保を図ります。
- ・ 授業の中では、基本的なことをしっかりと学習し、日常の早まる時間帯を利用して、**放課後の個別学習**を進めていくようにします。「先生に聞きたいけれど質問しづらい、時間がない」という生徒の意見や「個別にしっかり教えたい生徒がいる」といった先生の意見を生かせる時間帯を設定し、**一斉の授業では、わかりにくい個人に合わせて学ぶ時間**を作っていきます。時には、先生が指名する人は残って学習してもらいます。
- ・ 時間が早まる分、**部活動を早めに始めます**。全体の終わる時間も早まり、放課後の自分の時間の確保ができます。

○時間の振り分けイメージ

各教科 国語・数学・理科 社会・英語・保健体育	音楽	美術	技術	家庭	道徳	総合的な学習	特別活動
内容はそのままに 10%分の時間縮減		これまでと変わらず			10%分の時間増加		
各教科 国語・数学・理科 社会・英語・保健体育	音楽	美術	技術	家庭	道徳	総合的な学習	特別活動

○ 1日の時間の流れのイメージ



50分授業

45分授業

6校時は、15:20くらいに終わる計画です。
7校時は、16:15くらいに終わる計画です。